

【目指す学校像】 【基本方針 学びの場の充実(コミュニティ・スクール)】

【課題設定の背景】

- (1) 子どもたちが基礎基本の学力を確実に身に付けることができる学校
- (2) 子どもたちが温かい人間関係を築き、心身共に安心して生活することができる学校
- (3) 子どもたちが基本的な生活習慣を身に付け、健康で生き生きと活動ができる学校

学力・心・身体がバランスよく成長している健康な子どもが育つ学校

- 『 基礎基本の学力の向上 』
- 『 心と身体の健康の向上 』
- 『 人間力の向上 』
- 『 保護者・地域との連携 』

- 授業が分かる教室・学校づくりに努める。
- 健康で生き生き活動できる学校づくりに努める
- 一人一人を大切に作る学校づくりに努める
- 学校と保護者と地域が一体となった学校づくりに努める。

- 〔現状〕
- ・児童は明るく健康で活発に生活している。
 - ・学習面においては基礎・基本の学力の定着に努力を要する児童もいる。
 - ・学校と家庭との緊密な連絡や、児童の生活に十分目を行き届かせることが難しい状況も見られるようになってきている
- 〔課題〕
- ・基礎・基本の学力（読む・書く・計算する等）の確実な定着と向上
 - ・子どもたちの基本的な生活習慣の確立（落ち着いた生活態度）
 - ・家庭・地域と連携した教育の推進（共に見守り育てる視点の共有）
 - ・教員個々の指導力の向上（しっかり聞いて考える態度の育成）
- ◎学びの場の充実を図るために、学校と地域が一体となって教育活動を行うコミュニティ・スクールの構築を目指し、特色ある学校づくりを進める。

教育目標

考える子（重点）

基礎・基本を身に付け、意欲的に学ぶ子
よく考え、自ら判断し、行動できる子
課題解決に向かって、最後まで取り組む子

健康な子

自ら進んで体を鍛え、外遊びを楽しむ子
友達と仲良く、生き生きと活動する子
望ましい生活習慣を身に付け、よく働く子

やさしい子

相手を思いやり、差別を許さない子
人とのかかわりを大切にし、明るく挨拶する子
自然に親しみ、心豊かに感動できる子

基礎基本の学力の向上

◎学級経営の充実

- 学級目標の設定○教室環境の整備
- 学習規律「入二スタイル」の徹底

◎学力向上○基礎・基本の確実な習得○各教科言語活動の充実

- ・算数（1年～6年）少人数指導・学習度別指導及びT Tの実施
- ・算数ステップ学習の着実な実施・チェックシートの活用
- ・読書活動の充実…週2回の朝読書と月1回のお話会 読書環境の整備・充実
- ・漢字学習 MIM実施 ・漢字検定への全校統一した取り組み
- ・スピーチ大会の実施・3学期(学校公開時)全員発表
- ・計画的な事前練習と家庭と連携した学習の推進
- ・東京ベーシックドリル・漢字検定への全校統一した取り組み
- ・計画的な事前練習と家庭と連携した学習の推進

○補習授業の充実…学習指導講師を活用 水曜放課後に実施

○大田区外国語活動の実施…英語への興味・関心を高める。英語カフェの実施

授業の充実 指導力の向上

◎ユニバーサルデザインを取り入れた基礎・基本の確実な定着を目指した授業

◎教員の指導力の向上…教材研究 校内研究の充実 ○J T研修 年次研修区、都の研究会、研修会への積極的な参加 小中一貫教育の推進

心と身体の健康の向上

◎健康・体力の向上、生活リズム作り

- ・体育科授業では、年間を通してなわとび運動を行い体力向上を目指す。
- ・運動・遊びの時間の十分な確保・朝の校庭開放
- ・生活リズムを考えた時程・・・頭と身体が目覚め 登校の楽しみ
- ・食育・保健指導の充実・・・学校公開での食育授業の実施
- ・年2回の「早寝・早起き・朝ご飯」月間の実施
- ・体育集会やふれあいタイムにより運動への興味・関心を高める。

◎規範意識の向上

- ・きまりの視覚化・・・分かりやすく守りやすい環境づくりを進める。
- ・学期に1回の「入二スタイル」週間の実施・・・生活規律の確認・徹底

○一人ひとりに向き合う教育の推進

・「子どもの心サポート」月間の実施・・・「メンタルヘルスチェック」（高学年）「あなたの気持ち教えてね」アンケート（低学年）や面談の実施

・学校いじめ対策委員会、「いじめ撲滅宣言」の実施

◎オアシス委員会の充実・・・サポートルームとの連携

- ・見守りや支援の必要な児童への全教職員共通の支援方針の作成
- ・週1回の生活指導夕会の充実・個別ケース会議の開催
- ・不登校・長期欠席児童の未然防止、解消に努める。

○安全な環境づくり・・・安全点検カード・安全マップの活用・教員による地域巡回(学期1回)・防犯・施設の安全管理・避難訓練の実施

○防犯・セーフティ教室、交通安全教室、スマホ・携帯教室等の実施

人間力の向上

◎異学年交流活動の充実

- ・月1回の「入二タイム」の時間の十分な確保
- お弁当給食も含め、かかわる時間や内容の充実を図る

◎かかわる力の育成

・遊びや運動を通した人間関係作りの推進・・・ふれあいタイムでは教員も遊びに入り、児童同士・児童と教師のかかわりを深める。

○児童会活動の充実

・全校集会活動、行事の充実…いじめ撲滅宣言 入二まつり 委員会発表等

○委員会活動 クラブ活動の充実

○月1回の音楽朝会(学年発表の公開)・体育集会・児童集会の充実

◎大田区人権教育研究協力校としての活動

・11月に「第21回・地域と考える人権展」を実施・・・近隣幼稚園・保育園・小中学校等の作品も展示し、地域保護者とともに人権を考える機会とする。人権教育講演会の開催

・新井宿福祉園や地域の長生会等、地域の施設・団体との交流を通して体験的に学び、成果を展示発表する。

○人権尊重教育研修会(教員)

○保・幼・小・中の連携の推進 小学校支援活動への協力

保護者・地域との連携(コミュニティ・スクール)

◎保護者・地域に開かれた学校

- ・学校運営協議会(年6回)の実施(方針決定・授業協力など)
- ・学校公開日の充実(週休日3日を含む年間6日の実施)
- ・学校・学年・学級だより、HIPの充実と校内掲示の工夫
- ・個人面談、保護者会の充実
- ・保護者評価を生かした学校改善

○PTA・地域との協力

- ・教職員もPTAの一員として、PTA・地域の活動に積極的に参画する。
 - ・学校徴収金制度を整備して、金銭の流れに透明性をもたせ、関係者相互の自覚と信頼を促す。
- ◎地域学校協働本部『チーム入二』と協力し、地域人材・団体と連携した授業・取り組み充実
- ・わくわくスクールの充実